

令和六年五月二十九日 希望の光勉強会

神 示

「希望の光」<sup>みち</sup>は

人類が調和を遂げ 平和な社会を築くために

神が与えた救世の道

信者は この真実を知って

「真理」を人生の支えに生きる悟りが必要

神示を家族で学び 「真理」で関わる家庭を築く努力をする

そこに 自然と 家族の心は一つに重なり 運命に守られてゆく

運命は 万人・万物の天寿を全うし 互いの関わりを正しくつなぐ力

この力を引き出すことで 社会は調和し まとまって行く

なぜ 世界が安定せず 社会は乱れ

人々は迷いを深めるのか 分かるかや

「希望の光」<sup>みち</sup>の真実に気付けずに 知識と努力を頼って生きるため

人々<sup>ひと</sup>は無意識のうちに 「道」欠き 外し

社会の実体を下げている

ますます 信者は 人生の真実「真理」を知って

自ら「道」を守る決意<sup>こころ</sup>が必要

この心を欠いて 今日<sup>いま</sup>の社会を「正道」へ導くことはできない

神示に「真理」を読み取り 気付きを悟りに高めることで

人類は救われて行く